

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-526002(P2004-526002A)
【公表日】平成16年8月26日(2004.8.26)
【年通号数】公開・登録公報2004-033
【出願番号】特願2002-552065(P2002-552065)
【国際特許分類第7版】
C 0 8 G 18/42
【F I】
C 0 8 G 18/42

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月16日(2004.6.16)
【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

下記の反応によって得られるポリウレタンエラストマー：

- a) ジ - および/またはポリイソシアネートと、
 - b) OH価20～280および官能価1～3を有する少なくとも1つのポリエステルポリオール；および任意に
 - c) OH価10～149および官能価2～8を有する他のポリエーテルポリオールまたはポリエーテルエステルポリオール；および任意に
 - d) OH価150～1870を有する低分子量連鎖延長剤および/または架橋剤；
- とを
- e) アミン触媒；
 - f) (第1)解離定数が0.5～4のpK値を有する一または多塩基性カルボン酸のエステル；および任意に
 - g) 発泡剤；および任意に
 - h) 添加剤；

の存在下に反応させ、

該反応において、(成分fのエステル基の数) / (成分eのアミノ基の数)の最大比は1.0である。

【請求項2】

請求項1に記載のポリウレタンエラストマーを含有する成形品。

【請求項3】

ローラー、弾性要素または靴底の製造用の、請求項1に記載のポリウレタンエラストマーの使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0049】

【表 2】

実施例	70℃および100%相対大気湿度で所定の日数にわたって 老化させた後の、初期値のパーセントとしての残留引張強度				
日数	0	3	6	9	13
添加剤なし	100.0	60.1	27.1	10.1	0.0
1	100.0	107.6	87.1	62.4	27.1
2	100.0	84.8	67.1	61.0	22.6
3比較	100.0	80.9	46.3	28.4	9.9
4比較	100.0	97.6	49.4	25.9	8.8
5比較	100.0	84.7	43.9	16.6	6.4

本発明の好ましい態様を次に示す。

1. 下記の反応によって得られるポリウレタンエラストマー：

a) ジ - および/またはポリイソシアネートと、

b) OH価20～280および官能価1～3を有する少なくとも1つのポリエステルポリオール；および任意に

c) OH価10～149および官能価2～8を有する他のポリエーテルポリオールまたはポリエーテルエステルポリオール；および任意に

d) OH価150～1870を有する低分子量連鎖延長剤および/または架橋剤；
とを

e) アミン触媒；

f) (第1)解離定数が0.5～4のpK値を有する一または多塩基性カルボン酸のエステル；および任意に

g) 発泡剤；および任意に

h) 添加剤；

の存在下に反応させ、

該反応において、(成分fのエステル基の数) / (成分eのアミノ基の数)の最大比は1.0である。

2. 4,4' - ジフェニルメタンジイソシアネートとポリエステルポリオールのプレポリマーを、成分a)としてその製造に使用する上記第1項に記載のポリウレタンエラストマー

。

3. 上記第1項または第2項に記載のポリウレタンエラストマーを含有する成形品。

4. ロールー、弾性要素または靴底の製造用の、上記第1項に記載のポリウレタンエラストマーの使用。